

新年のご挨拶

マツダエース協力会 会長 藤井 隆

(有限会社日東ベンディング中国 代表取締役社長)

明けましておめでとうございます。皆様には、2025年の新年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年も皆様からお力添えをいただき、マツダエース協力会の会長としての役目を果たすことができました。本年も引き続き会員皆様方の親睦を深め、相互に発展できますよう努めていきたいと思ひます。今後一層のご支援とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

さて、2024年を振り返りますと、新型コロナウイルスが5類に引き下げられて1年が経ち、コロナ禍以前の風景が皆様との交流の場にも戻ってきたように思ひます。協力会活動においても6月の定時総会にその後の7月野球観戦、10月ゴルフコンペでも多くの会員様にご参加いただき、親睦を深める場を設けられたことを大変嬉しく思っております。

マツダ車拡販の状況ですが、ラージ商品群第二弾である新型SUVのCX-80が発売されたこともあり、昨年度は589台（マイカー223台・業務用車366台）のご協力に感謝いたします。本年度の拡販活動は残り少ないですが、皆様のご尽力により、昨年度を上回る実績になることを期待します。

また、昨年の12月には「2024-2025日本・カー・オブ・ザ・イヤー」において、世界でマツダだけが量産化に成功したロータリーエンジンを発電機として使用する「e-SKYACTIV R-EV」が「2024-2025日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会特別賞」を受賞しました。マツダ車による同賞受賞は2011年以来13年ぶり2回目となります。コンパクトで高出力なロータリーエンジンの特徴を活かし、時代に適合させたマツダの技術が認められたものと思ひます。

最後になりましたが、マツダエース協力会の活動が会員各位の親睦を深める場として、益々活発になること、加えて皆様方、ご家族、社員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



謹んで年頭の祝詞を申し上げます
本年も幸多き年でありますよう心からお祈り申し上げます

〃	監査	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	理事	会計	〃	副会長	顧問
坂本 和久	児玉 勝好 (株)ダイコーフーズ(株)	橋詰 隆 ミドリ安全南広島(株)	森下 康浩 三井物産流通グループ(株)	中島 和雄 広島駅弁当(株)	島田 泰実 (株)島田鉄工所	大野 徹 (株)大野石油店	出口 浩行 (株)エディオン法人営業部	土橋 忠弘 (株)一誠	新井 宏 (株)アステイ	楨岡 達也 (株)こっこー	西山 郁也 TOPPAN(株)	中吉 雄二 中吉エンジニアリング(株)	小川 嘉彦 (株)いとや

新年のご挨拶

マツダエース株式会社

代表取締役社長 埴森 敦己



明けましておめでとうございます。マツダエース協力会会員の皆様におかれましては、ご家族の皆様と一緒に
お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

旧年中は皆様方より多大なるご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。昨年は6月の
定例総会から始まり、野球観戦、ゴルフコンペとミーティングなどコロナ禍以前にもどった例年通りの行事を開催する
ことができました。ただ野球観戦は試合自体が雨天中止となり、ゴルフコンペは季節外れの好天に恵まれるなど天候に
左右されることも多かった気がします。ご参加の方々とは情報交換など貴重なご意見を賜ることができたと感じて
おります。今年は山口湯田温泉での宿泊総会を計画しておりますので、皆様におかれましては会員様同士の交流・
情報交換の場としてご活用いただけるよう、出来る限り努力をして参りますので、引き続き、ご支援のほど、宜しく
お願い申し上げます。

さて、昨年のマツダを振り返りますと、第2四半期ではグローバル販売台数は63万台。昨年上期からは2%増加したもの
の、予算で設定した台数を大きく下回る結果となりました。

米国、メキシコ、カナダでは前年同期比で販売台数が増加し、この上期は単月での販売台数や市場シェアなどで何度も
過去最高を記録・更新した6か月間となりました。一方で、アジア、特に日本での販売では苦戦しました。当期純利益は上期
全体では黒字となったものの、第2四半期だけで見れば赤字となりました。この上期の結果またその背景要因を踏まえて、
今回、通期の営業利益見通しを2,700億円から2,000億円へと下方修正することとしました。これは、グローバル販売台数
は成長しているものの予算対比では減少を反映した結果です。この下方修正は、お取引先様や株主の方々にとって
好ましくないニュースでした。

とはいえ、うれしい話題としては、昨年は約11年振りとなるロータリーエンジンが復活し、MX-30 Rotary-EVの受注を
開始し、ロータリーエンジン搭載車の累計生産台数が200万台に達しました。またロータリーエンジン搭載「マツダ787B」が、
「2023日本自動車殿堂歴史遺産車」に選定されました。マツダ787Bは「世界最高峰の耐久レースであるルマン24時間
レースで、純国産車及びロータリーエンジン車として初の総合優勝」「“飽くなき挑戦”を続け日本の技術を世界に知らしめた」
ことが評価されました。マツダ車が「日本自動車殿堂 歴史遺産車」に選定されたのは、2003年のコスモスポーツ、2019年の
初代ロードスターに続いて、今回が3回目となります。「日本自動車殿堂 歴史遺産車」とは、日本の自動車の歴史に優れた
足跡を残した名車を選定し、日本自動車殿堂に登録し永く伝承するものです。本当に喜ばしい話題でした。

最後に、会員企業様の益々のご発展と、皆様方のご健勝を祈念して、新年のご挨拶に代えさせていただきます。

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます
本年も相変わらずご愛顧のほどお願い申し上げます

経営戦略室室長	業務本部長	プラントテクノロジー本部長	ブランドサポート本部長	ライフサポート本部長	警備防災本部長	執行役員	執行役員	執行役員	取締役執行役員	取締役執行役員	取締役執行役員 情報技術サービス本部長	取締役常務執行役員	取締役専務執行役員
高松 美裕	力石 公一	平林 明博	鎗分 秀和	今村 昌彦	作岡 高史	西本 武生	上神 政也	濱田 直之	渡辺 忠	地下 豊	天満 昇	中谷 昭二郎	小田 佳郎

第21回 マツダエース協力会 ゴルフコンペ・ミーティング



10月18日(金)第21回マツダエース協力会ゴルフコンペを広島カンツリー倶楽部西条コースで開催し、総勢50名(会員様:37名、マツダエース:13名)の方に参加いただきました。当日は曇り予報でしたが予想外の快晴となり、大自然の中で皆さん見事な腕前を披露され、ゴルフを楽しんでいただきました。

プレー終了後はセラトングランドホテル広島に場所を移し、藤井会長からのご挨拶、児玉監査による乾杯の首頭でミーティングが始まりました。表彰式では優勝者と順位及び特別賞の表彰があり、優勝の三輪様より喜びのコメントをいただき、拍手喝采で祝福されました。また、昨年に引き続き抽選会では11社の理事から景品提供いただき、当選者が発表されるたびに盛り上がりました。

交流を深めることができた一日となり、森下理事による中締めでミーティングが終了しました。ご参加された皆様、お疲れのところ最後までお付き合いいただきありがとうございました。



表彰順位 (敬称略)

1位	三輪 安志	サントリービバレッジソリューション(株)
2位	林 和則	(株)いとや
3位	井本 公二	(株)大方工業所
4位	山本 慎太郎	山本食品(株)
5位	安藤 泰祐	(株)吉田

特別賞 (敬称略)

ベスグロ		江本 泰司	三光電業(株)
ニアピン	OUTグループ	8番 津森 裕彦	(株)麒麟ビバックス
		13番 山岡 泰久	(株)中島商会
	INグループ	8番 田中 宏輔	TOPPAN(株)
		13番 大前 俊彦	富士フィルムビジネスソリューション(株)
ドラコン	OUTグループ	9番 柴田 知英	(株)柴田塗装店
		12番 山田 浩二	山崎製パン(株)
	INグループ	9番 藤原 雄基	新生物流サービス(株)
		12番 泊 俊次	(株)トマリ商会



ゴルフ優勝 三輪様



挨拶 藤井会長



中締め 森下様



乾杯 児玉監査



会員情報

(2024年4月1日以降11月末現在)

●退 会 (1社)

会社名

(有)安芸商店

マツダエース協力会HP

<https://www.mazdaace.co.jp/company/cooperation.html>

マツダ車拡販のお願い

日頃より会員各社様には、マツダ車の販売へのご支援・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

マツダ車拡販状況は2024年11月末上期(11月末)時点で、294台と前年よりやや減少していますが、皆様のご尽力に感謝いたします。今期も残すところ3か月となりましたが、昨年実績を上回るよう、引き続きご協力の程よろしくお願い申し上げます。

来年度の定時総会にて拡販表彰(マイカー表彰・業務用車表彰・従業員比率表彰)を予定していますので、結果のご報告までしばらくお待ちください。

さて、昨年マツダは新型SUV「MAZDA CX-80」を発売しました。「CX-80」は圧倒的な運転体験と上質で心地よい移動体験を両立し、高い環境性能と安心安全のカーライフをお届けすることを目指したマツダの国内市場におけるフラッグシップモデルです。人馬一体の走りと優れた燃費性能を両立する3種類のパワートレインをラインナップしており、意のままにクルマを操る楽しさと快適な乗り心地を体験でき、優雅さと品格が際立つデザインとなっております。

また昨年末には「CX-5」、「CX-30」、「MAZDA3」、「MAZDA2」の4車種において、お客様の関心が高い装備を採用した新機種を発売しましたので、他の車種と合わせてご購入を検討ください。

なお、「マツダフレンドシップパートナーマイカーご成約御礼」がありますので、マツダ車のご商談・ご注文時にご購入店舗のスタッフへお申込書をご提出ください。

※ご提出がないと、お申込資格は失効となりますので、ご注意ください。

対 象 者 協力会会員会社の従業員様とその同居のご親族(配偶者、子供、両親または兄弟姉妹、等)

対 象 車 種 マツダ株が取り扱う新車で、個人名義での登録／届出された乗用車であること。
(※業務用車は特典の対象外となりますが、拡販表彰では実績台数となります)
マツダ系、マツダアンフィニ系およびマツダオートザム系でご購入いただいた車両が対象です。

乗 用 車： MAZDA2、MAZDA3、CX-3、CX-30、CX-5、CX-60、CX-80、MX-30、
ロードスター

軽乗用車： フレア、フレアワゴン、フレアクロスオーバー、キャロル、スクラムワゴン



MAZDA CX-80